

2022年4月18日

LEXUS、ミラノデザインウィークで持続可能な未来に向けた展示を実施 「LEXUS: SPARKS OF TOMORROW」を発表



- LEXUS の電動化ビジョンからインスパイアされたインスタレーションを実施
- 建築家でデザイナーのジャーメイン・バーンズ氏とコラボレーション
- LEXUS DESIGN AWARD 2022 入賞作品を展示
- ロイヤル・カレッジ・オブ・アートの学生によるコンセプトデザインを展示
- INTERSECT BY LEXUS – TOKYO でも連動インスタレーションを実施

LEXUS は、2022年6月6日(月)~12日(日)、イタリア・ミラノで開催される世界最大のデザインイベント「ミラノデザインウィーク」に出展することを発表しました。2005年の初出展以来、フィリップ・ニグロ氏、ネリ・オックスマン氏、藤本 壮介氏、ライゾマティクスなどのアーティストとのコラボレーションを通し、LEXUS の価値観やビジョンにインスパイアされた数々の新しい体験を生み出してきました。

今年の「LEXUS: Sparks of Tomorrow」は、LEXUS の人間中心で未来志向のデザインへのアプローチにインスパイアされた3つの企画から構成されます。数多くの受賞歴をもつ、建築家でデザイナーのジャーメイン・バーンズ氏によるインスタレーション、国際的デザインコンペティション「LEXUS DESIGN AWARD 2022」のファイナリスト6組のプロトタイプ作品展示、そして、ロイヤル・カレッジ・オブ・アートの大学院生による未来のモビリティをテーマとしたコンセプトデザイン展示です。

「LEXUS: Sparks of Tomorrow」 概要

日時	6月6日(月)～12日(日)、午前11時～午後9時
会場	スーパースタジオ・ピュー内アートポイント (Superstudio Più) 住所: Via Tortona, 2720144-イタリア、ミラノ
展示	<ul style="list-style-type: none"> ・ジャーメイン・バーンズ氏とアクア・クリエイションズとのコラボレーションによる、LEXUSの電動化ビジョンからインスパイアされたインスタレーション ・「LEXUS DESIGN AWARD 2022」入賞6組によるプロトタイプ作品展示 ・ロイヤル・カレッジ・オブ・アートの学生によるコンセプトデザイン展示

インスタレーションの概要

ジャーメイン・バーンズ氏はデザインマイアミ 2021 で発表した、LEXUS の電動化ビジョンからインスパイアされたインスタレーション「ON/」のコンセプトを引継ぎながら、ミラノデザインウィークでは、LEXUS 初のバッテリーEV 専用モデルである「RZ」をモチーフに、インスタレーションを進化させています。1/1 スケールで立体的に再現され、光を放ちながら地上に降り立とうとしている RZ は、持続可能な未来の到来を表現しています。自然からインスパイアされた芸術的な手作りライトを制作するアクア・クリエイションズ (Aqua Creations) の照明コレクション「Code 130°」のカラフルなペンダントライトが RZ を取り囲み、視覚的にもダイナミックで、かつインタラクティブな体験をお楽しみ頂けます。

また、本インスタレーションに隣接するラウンジエリアは、アクア・クリエイションズの

「ToTeM」コレクションのライトで彩られます。見た目にも美しく、柔らかな光を放つライトに照らされたラウンジには、休憩したり、充電ができるスペースも用意され、インスタレーションを眺めながら思い思いに心豊かな時間を過ごして頂けます。

LEXUS DESIGN AWARD 2022 入賞作品の展示

「Lexus: Sparks of Tomorrow」ではインスタレーションに加え、世界のクリエイティブ・コミュニティから注目を集めるミラノデザインウィークの場で、次世代を担うデザイナーがそれぞれの未来に向けたアイデアを披露いたします。

まず、「LEXUS DESIGN AWARD 2022」の入賞6作品のプロトタイプを展示いたします。「DESIGN FOR A BETTER TOMORROW」をテーマに、世界中から寄せられた応募作品の中から、LEXUS が掲げる3つの基本原則「Anticipate (予見する)」、「Innovate (革新をもたらす)」、「Captivate (魅了する)」、そして「Enhance Happiness (そのアイデアがいかに人々に幸せをもたらすか)」を具現化する、豊かな社会とより良い未来を創造するためのアイデアが、今年1月に選出されました。

入賞者は、シャーロット・ボーニング (国籍: 米国・ドイツ/活動拠点: 米国) & メアリー・レンプレス (国籍: 米国・ノルウェー/活動拠点: 米国)、Wondaleaf (マレーシア)、Team Dunamis (ナイジェリア)、ポー・ユン・ルー (シンガポール)、Kristil & Shamina (ロシア)、三

國孝（日本）の6組です。受賞者6組は、約3カ月間にわたり世界の第一線で活躍するメンター4名から直接指導を受け、アイデアをブラッシュアップしながらプロトタイプ制作を行ってきました。

そして、審査員のパオラ・アントネッリ氏（ニューヨーク近代美術館（MoMA）建築・デザイン部門シニア・キュレーター）、アナパマ・クンドゥ氏（建築家／アナパマ・クンドゥ・アーキテクト創設者）、ブルース・マウ氏（MASSIVE CHANGE NETWORK 共同創設者・CEO）、サイモン・ハンフリーズ（Head of Toyota & Lexus Global Design）により最終審査が行われ、グランプリ1組を5月12日（木）にオンラインで公開いたします。

RCA 学生による次世代モビリティコンセプトの展示

LEXUS とロンドンのロイヤル・カレッジ・オブ・アート（RCA）によるクリエイティブ・プログラム「2040: The Soul of Future Premium」より生まれた、次世代を担うデザイナーたちによる、先鋭的でラグジュアリーなモビリティコンセプトも紹介されます。

21世紀半ばに向けて、ラグジュアリーモビリティがどのように進化するかを考えるこのプロジェクトは、2021年9月、LEXUS と、アート・デザインの世界最高峰の研究機関一つである RCA とのコラボレーションで始まりました。

RCA の学生たちには、ヨーロッパにおける都市生活、社会、人口構成の変化等に対応するための新しいモビリティがどうあるべきか、そしてその中で LEXUS が果たすべき役割はどう変わっていくかを考えてもらいました。デザインと研究の双方において卓越した RCA のインテリジェント・モビリティ・デザイン・センターで学ぶ20名の大学院生から生まれた、独創性あふれるコンセプトデザインをご覧ください。

INTERSECT BY LEXUS – TOKYO での連動インスタレーション

ミラノデザインウィークに先駆け、5月25日（水）より、東京・青山にある LEXUS のブランドスペース「INTERSECT BY LEXUS - TOKYO」において、デザインマイアミ 2021 でのジャーメイン・バーンズ氏によるインスタレーション「ON /」を一部再構成した展示を行います。次世代 LEXUS を象徴する BEV（電気自動車）コンセプトカー「LF-Z Electrified Concept」をモチーフに、LEXUS が描く電動化とカーボンニュートラルな未来を表現しています。

◆INTERSECT BY LEXUS – TOKYO について

INTERSECT BY LEXUS – TOKYO は、“都市とつながり、人と人、人とクルマが交わる”というテーマのもと、LEXUS が考えるライフスタイルを体験できるグローバル規模のブランド活動発信拠点。幅広い分野で、LEXUS が考えるラグジュアリーライフスタイルを発信しています。

- ・住所：東京都港区南青山 4-21-26
- ・オフィシャルサイト：www.intersect-by-lexus.com/tokyo

◆LEXUS DESIGN AWARD について

2013年に創設された LEXUS DESIGN AWARD は、世界中の新進気鋭のクリエイターに焦点を当てる国際デザインコンペティションです。より良い未来を形成する力を持った作品を制作するデザイナーやクリエイターを支援することによって、社会に貢献するアイデアを育むことを目的としています。同賞は、世界的に認知された一流のデザイナーをメンターとして、提案したデザイン案のプロトタイプ化に取り組む貴重な機会を6組の入賞者に提供します。

以上